

今年度より「半導体基礎講座」を新たに開講しました

九州共立大学経済学部経済・経営学科では、令和8年度より新たに「半導体基礎講座」を開講し、初年度となる今年度は24名の学生が受講しました。

近年、半導体はスマートフォンや自動車、生成AI、データセンターをはじめ、私たちの社会を支えるさまざまな技術に欠かせない存在となっています。また、九州では半導体関連産業への注目が高まっており、半導体について基礎から理解することの重要性も増しています。

半導体産業では、技術者だけでなく、営業、企画、調達、経営、物流、人事など、さまざまな職種の人材が関わっています。「半導体産業では、技術系人材だけでなく、産業の仕組みや特徴を理解した文系人材にも活躍の機会が広がっている」と大幸秀成先生（半導体エヴァンジェリスト）は指摘しています。

本講座では、大幸秀成先生による講義を通して、半導体の基本的な仕組みから、製造工程、関連産業、最新の技術動向までを幅広く学び、半導体が社会や産業の中でどのような役割を果たしているのかについて理解を深めました。

さらに、講義での学修に加え、北九州学術研究都市、安川電機、上野精機への学外研修も実施しました。学生は、研究開発や製造の現場を実際に見学することで、半導体や関連技術が地域の産業とどのようにつながっているのかを具体的に学ぶ機会を得ました。

本講座は、専門的な技術者を育成することだけを目的とするのではなく、半導体を現代の産業や経済を理解するための重要なテーマの一つとして捉え、学生が将来さまざまな立場で半導体関連産業と関わるための基礎知識を身につけることを目指して実施しました。

今年度初めて開講した「半導体基礎講座」は、全日程を終了しました。今後も社会や産業の変化を踏まえながら、学生が将来のキャリアにつながる幅広い知識を身につけられる教育を進めていきます。



大幸秀成先生による集中講義(2026 年 7 月 26 日) 北九州学術研究都市見学(2026 年 8 月 20 日)



安川電機見学(2026 年 8 月 20 日)



上野精機見学(2026 年 9 月 2 日)